



例会報告	第1019回	2015年4月1日
例会日	水曜日 12:30~13:30	
例会場	ハピオ2F	
創立	平成5年10月19日	
会長	白木 幸久	
副会長	佐治 清	
幹事	行木 隼人	
事務局	河東郡音更町木野大通西7丁目1 ハピオ木野内	

起立：向平 敏孝SAA 点鐘：白木 幸久会長 開会宣言：向平 敏孝SAA

## 会長挨拶

行木幹事、結婚記念おめでとうございます。本日は行木幹事の結婚記念例会に、ご出席いただき、まことにありがとうございます。

本日より新年度が始まったところも多いかと思えます。私のところでも、新人が入ってきて、それだけで、職場が明るくなったような気がするの不思議です。でも、新人さんにとりましてはまだ慣れない職場で、大変な思いをしていることと思えます。そのうち慣れてきて、だんだんと初めの真面目さが薄れ、新鮮な思い、真剣な意気込み、謙虚な気持ちが薄らいでいくでしょう。

仏教では、初めて悟りを求める心の発することを初心と言いますが、「初心忘るべからず」(初心不可忘)の句どおり、初心は大切です。この句はもともと、室町時代の世阿弥が能楽を習う時の心構えとして諭した言葉です。

その書物『花鏡』の結びには、「しかれば当流に万能一徳の一句あり。初心忘るべからず。この句、三ヶ条の口伝あり。是非とも初心忘るべからず。時々の初心忘るべからず。老後の初心忘るべからず。この三、よくよく口伝すべし」。

世阿弥の言う「初心」とは「始めた頃の気持ちや志」すなわち「初志」ではなく、「芸の未熟さ」なのです。初心者の未熟さを折にふれて思い出すことにより、「あのみじめな状態には戻りたくない」と思うことでさらに精進でき、若い頃の未熟な芸を忘れなければ、そこから向上した今ある芸も正しく認識できるのです。

さらにこれには続きがあります。時々の初心忘るべからず～若き日の未熟な状態から抜け出した後、年盛り相応の芸を学んだ、初めての境地を覚えておくことにより、幅広い芸が可能になります。そして、老後の初心忘るべからず～老後にさえふさわしい芸を学ぶ初心があり、それを忘れずに限らない芸の向上を目指すべきと説いています。何事にも物事の完成度を高めるためには、大切な心構えではないかと思えます。

今月は地区協議会が開催され、次年度が目に見えるかたちで進んでいく時期になりました。もはや会長年度の老後を迎えているわけですが、老後にもふさわしい初心があり、毎日が初心、一生が初心、人生学ことに限りはありません。ロータリーで学ぶことを活かしながら、初心忘るべからず、新鮮な気持ちでもって日々活動に打ち込んでいきましょう。



### 3月誕生祝

- 岡田幸紀会員
- 田中義博会員
- 竹田晋二会員
- 佐藤誠吾会員

### 3月結婚祝

- 中山正良会員
- 猪子茂昭会員
- 白木幸久会員
- 広瀬敏之会員

- 田中義博会員
- 田中厚一会員
- 坂本夕樹会員
- 行木隼人会員



田中会員へ誕生日記念品贈呈



岡田会員へ誕生日記念品贈呈



黒川会員より祝辞

## ニコニコ献金

田中義博会員・・・次年度のバッジを配布しました。イベント時に付けて下さい。宜しく  
行木隼人会員・・・長男が」本日札幌に旅立ちました。

## 会員卓話

「自社紹介」・・・長屋 正宏会員



長屋会員卓話



卓話の様子



## 出席報告

出席委員長：長屋正宏

	例会数	計算に 用いる 会員数	ホーム クラブ 出席者	メイク アップ	欠席	出席率
前回	37	17				45.9%
今回	37	18				48.6%

## 次週からのプログラム

4月 8日(水) 会員卓話 12:30～ (クラブ会報委員会)  
 4月15日(水) 職場訪問例会 帯広大谷短大 (職業奉仕委員会)  
 4月22日(水) 会員卓話 12:30～ (親睦家族委員会)  
 4月25日(土) PETS・会員増強拡大セミナー (旭川)

## 例会案内

月曜日> 広尾RC: 日高信金広尾支店2F <水曜日> 音更RC: ハピオ木野コミュニティーホール <木曜日> 足寄RC: 足寄銀河ホール  
 帯広南RC: 北海道ホテル 帯広RC: ホテルノースランド帯広 清水RC: 清水町中央公民館  
 <火曜日> 芽室RC: めむろーど2FセミナーホールII 上士幌RC: 川村会館 帯広西RC: 北海道ホテル  
 帯広東RC: 帯広ワシントンホテル <金曜日> 帯広北RC: ホテルノースランド帯広

発行元：音更ロータリークラブ 会報委員会

今月の会報担当者： 広瀬

広瀬、竹田、長屋、坂本、大和、佐藤、作田、黒川、平尾、田中、中西、高山